

の の い ち し ち ゅ う し ん し が い ち
野々市市中心市街地地区
 (石川県野々市市)

- 計 画 期 間 平成 19 年度～平成 23 年度
- 面 積 950 h a
- 交付対象事業費 393 百万円
- 市人口 57,701 人 (地区内人口 50,091 人)

ポイント

人が集う魅力ある都市の実現。

地区概要

道路、交通施設等を整備することにより、区域内の快適な住環境の創出を図り、定住化の促進を図る。また、北陸新幹線整備にあわせ、駅周辺の施設整備、安全な歩行空間の整備を図る。

目 標

脆弱な都市基盤を改善するため、交通施設の整備を図り、安心・安全のまちづくりを目指す。建築環境を整えることにより、宅地化を促進し、5万人都市構想の推進を図る。

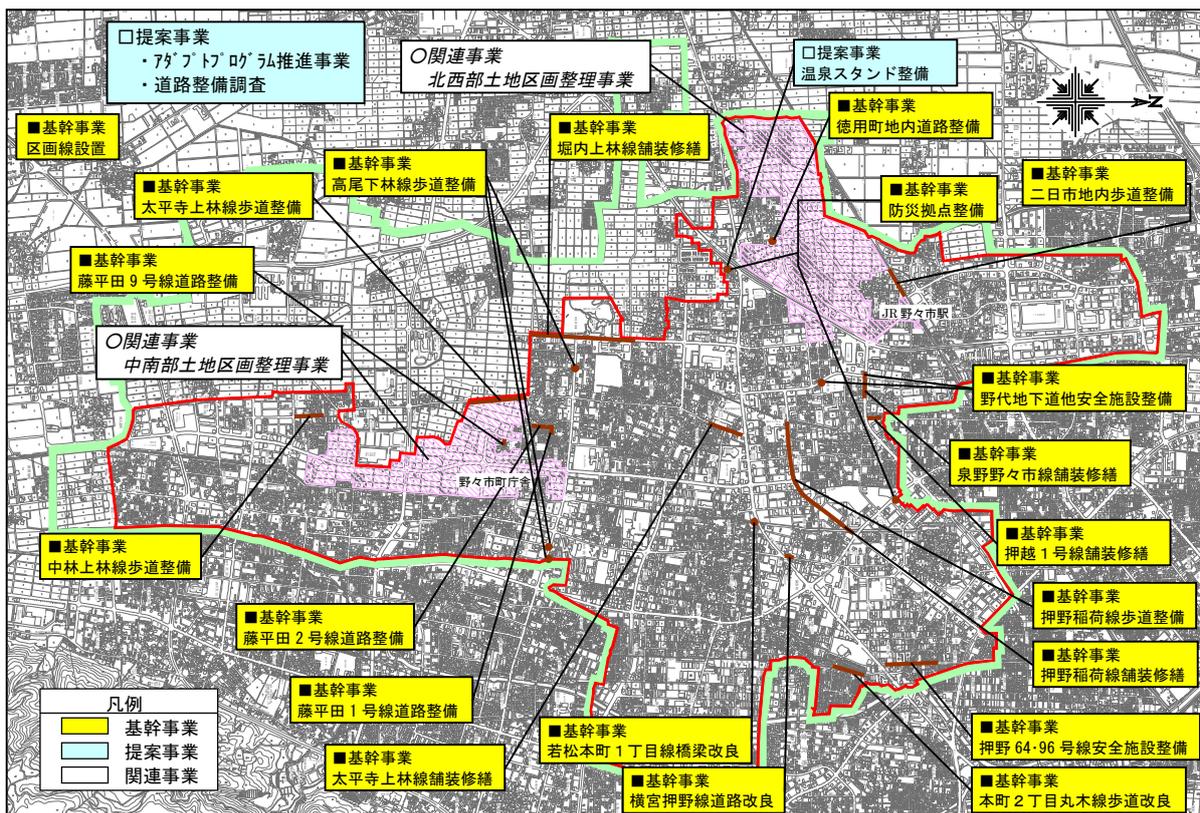
指 標

中心市街地として、良好な住宅地としての魅力度を人口の動向で判断する。また、新市街地が形成される中で、災害に対して安心なまちづくりが求められており、防災拠点の増加を指標とした。

地区内人口の増加	45 千人	(H19)	→	47 千人	(H23)
アダプトプログラムの推進	0 団体	(H17)	→	7 団体	(H23)
防災拠点箇所数	7 箇所	(H17)	→	9 箇所	(H23)

事業内容

- 基幹事業 (363 百万円) → 道路改良 (幅員 4.0m～11.0m、延長 400m)、歩道改良 (幅員 1.5～3.0 m、延長 2,580m)、舗装修繕 (5 路線、7,500 m²)、橋梁改良 (延長 12m)、安全施設 (1 カ所)、地下道改良 (2 カ所)、防災拠点整備 (2 カ所)
- 提案事業 (30 百万円) → 温泉スタンド整備、アダプトプログラム推進事業、道路整備調査



地区の現況と課題

庁舎屋上から望む街なみ

平成17年に新庁舎が町の中心部に移転したことから、庁舎を核に都市の形成が図られており、都市基盤整備が進められている。急激な都市化の進展により、交通施設の改良や安心安全のまちづくりが課題となっている。また、既存集落では、狭隘な道路も多く存在しており、早急な道路整備が必要となっているほか、北陸新幹線整備にあわせた、JR野々市駅周辺の道路、施設、快適な歩行空間の整備が求められている。又、新市街地が形成される中で、災害に対して安心なまちづくりが求められており、防災拠点整備が必要である。



提案事業の特徴

温泉スタンド整備

防災施設計画地に温泉井戸があり、災害時に有効活用可能な施設とし、通常時は一般の方が温泉を利用出来るよう整備する。

アダプトプログラム推進事業

地域住民による道路の清掃、美化、除雪のボランティア活動に対し支援を行い、まちづくりへの意識の向上を図る。また、年次的に小型除雪機を購入し、ボランティア団体による除雪活動に対し、貸与する。

道路整備調査

道路補修重点地区の抽出、道路整備・補修計画策定の基礎資料とするため、導入済みのGISシステムを改良し、道路管理において活用を図る。



庁舎周辺の商業施設



温泉スタンド

計画策定プロセス

本計画は、「野々市町総合計画21」を上位計画とし、施策を検討している。

実施事業の進捗状況の把握

基本構想—基本計画—実行—評価の体系に基づき、調整・管理機能の強化を図り、全体計画の進捗状況の把握や未達成施策の分析を行っている。

施策の検討、住民活動の推進

住民を交えた組織での検討や関係機関への効率的な働きかけを行い、施策実現に努めている。また、各種機会を通じて、地域住民や団体への参画啓発、誘導に努めている。



アダプトプログラムの様子（除雪）



アダプトプログラムの様子（清掃）